

鹿島駅エリア整備事業

肥前鹿島駅及び駅周辺は、鉄道やバスに乗るための交通拠点としてだけでなく、「鹿島・太良らしさ」を感じられる広域的な交流拠点となるよう、佐賀県、鹿島市が連携して整備を進めています。

肥前鹿島駅及び駅周辺を鹿島・太良のスローツーリズムのフロントとし、旅行者が肥前鹿島駅にチェックインして、沿線各地の宿に宿泊するような新しい旅のかたちが創出され、地域全体の価値が向上することを目指します。

新駅舎は、出会いと滞在の入口へ



お迎えフロント



ラウンジ、ショップ



宿泊施設

※掲載している写真はイメージです

●新駅舎運営事業者について

肥前鹿島駅の新駅舎には、スローツーリズムのフロント機能の核として、「えきやど(小規模宿)」、「飲食」、「物販」を設置。これらを効果的に運営するために、民間のノウハウを活用することとしており、整備に先立ち、令和7年1月に、新駅舎の、「えきやど(小規模宿)」、「飲食」、「物販」を運営する事業者を公募により(株)イノベーションパートナーズ、(株)GOTENリゾート、(株)日比谷花壇の3社に決定しました。(事業者は、新駅舎の一部を県から賃貸借し運営)



<新駅舎飲食・物販スペースイメージ>

肥前鹿島駅周辺整備のイメージ



沿線えきやど構想

肥前鹿島駅をフロントに、鹿島・太良全体で「沿線えきやど」という仕掛けづくりにチャレンジ。

鹿島・太良全体を宿に見立てて、旅行者が、肥前鹿島駅にチェックインし、鉄道を使って沿線各地の宿に宿泊し、ゆっくりと鹿島・太良の各地を楽しむような、新しいかたちの旅を提案していく。



※掲載している写真はイメージです



肥前鹿島駅エリア整備スケジュール

